



九州大学 うみつなぎふくおか

福岡の海と人のつながり調べ ～海と日本のPROJECT～



九州大学



海と日本PROJECT



海と日本PROJECT

2021年9月2日

学校関係者各位

九州大学うみつなぎ九州

「第3回うみまなびオンライン講座 ～海と日本プロジェクト～」

9月5日(日)開講します！

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

来る9月5日、第3回うみまなびオンラインを開催にあたりまして、当日スケジュールおよび講座概要をお知らせいたします。

敬具

<講座内容のご紹介>

講座⑤ 「浅海底の見える化で拓く科学」(菅 浩伸 教授)

沿岸浅海域は人の居住域に近く、漁業も盛んな海域ですが、科学的知見がきわめて少ないのが現状です。浅海底を可視化することによって、海底調査が可能となり、様々な発見につながります。ここでは、その研究活動の様子をご紹介します。

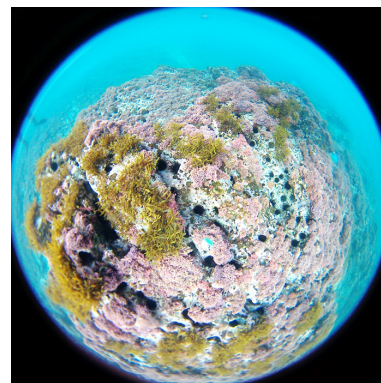
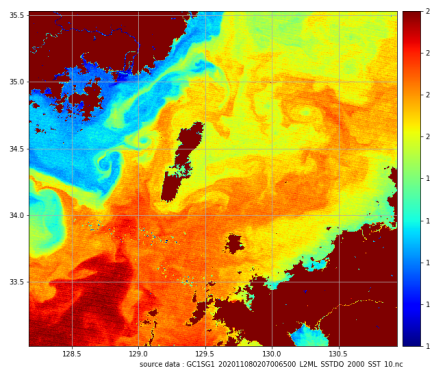


講座⑥ ”磯焼け” 変わりゆく森の海(清野聡子 准教授)

“磯焼け”とは、海藻が急激に消滅してしまい、まるで山火事にあった森のように大型の植物が消えてしまう現象のことです。磯焼けは、日本各地の沿岸で見られていますが、九州西岸の対馬などの島々では深刻で、最近ではさらに北方や太平洋沿岸

へと拡大しています。

今回の講座では、海中を観察しているダイバーや潜水漁業者の方々から海中状況を報告していただきます。




特別レポート:九州沿岸の海中からの報告

糸島や対馬などの海中の状況を潜水観察されている研究協力者の方々に変化を伺います。

<イベント概要>

日時	2021年 9月5日(日)13時~16時 (入室開始 12:30~)
会場	【ZOOM】 12:30 入室可能 12:45 イントロダクション(本日の予定紹介)
次第	13:00 開講のあいさつ 13:05 講師紹介 13:10 講座⑤「浅海底の見える化で拓く科学」(菅 浩伸 教授) 14:00 質疑応答 菅 浩伸 教授・三納正美 准教授 14:25 休憩 14:30 講座⑥「磯焼け」 変わりゆく森の海」(清野聡子 准教授) 14:45 九州沿岸の海中からの報告① 福岡県糸島市姫島 ふくおかFUN 平山ひゅうご 15:00 九州沿岸の海中からの報告② 長崎県対馬市賀谷 潜水漁業者 鎌田衛 15:15 質疑応答・討議 講演者・参加者 15:45 アンケート記入 15:50 所感・次回のご案内 15:55 閉会あいさつ 16:00 終了・解散 ※進行状況によりプログラムの時間が変更になる場合があります
参加方法	当日、開始時間になりましたらzoomにてご参加ください。 Zoom URL

	<p>https://us02web.zoom.us/j/82237135259?pwd=STVnUHV3WFFKUTg5MVpURmxqRlBqUT09</p>  <p>【ご参加時の注意点】 ご参加時はビデオ及び音声はオフにさせていただきますようお願いいたします。(スタッフが強制的にオフにする場合がございます)また、参加者がわかるようにお名前を変更していただきますよう、合わせてお願いいたします。</p>
講師①	<p>菅 浩伸(九州大学大学院 比較社会文化研究院 主幹教授) 九州大学 浅海底フロンティア研究センター センター長 九州大学大学院 地球社会統合科学府/比較社会文化研究院 環境変動部門 九州大学 共創学部</p> <p>サンゴ礁地形の形成過程とそれに関わる第四紀の環境変遷、熱帯島嶼域における防災・人と自然との共生をテーマとした研究を行っています。また太平洋・インド洋の環礁国では、サンゴ礁の形成に関する研究とともに、環礁洲島の地形と津波災害および温暖化など地球環境問題の影響に関する研究を進めています。</p>
講師②	<p>清野 聡子(九州大学大学院 工学研究院 准教授) 九州大学大学院工学研究院 環境社会部門/附属環境工学研究教育センター 准教授 九州大学 工学部土木工学科</p> <p>九州大学 浅海底フロンティア研究センター 副センター長/社会連携部門</p> <p>海岸生態工学、沿岸・流域環境保全学、水生生物学が専門です。特に、漁場の開発と保全の調整、希少生物生息地の再生、地域住民や市民の沿岸管理への参加、水関係の環境計画や法制度。地域の知恵や科学を活かした海洋保護区を研究しています。工学部の土木学でも、自然を守ることが人類の生存にも大切との展開が始まっています。</p>

団体概要

団体名称: 九州大学うみつなぎ

所在地 : 819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学大学院工学研究院附属環境工学研究教育センター

電話番号: 092-802-3431

統括管理者: 清野 聡子 准教授

設立 : 2020年6月1日

URL : <http://umitsunagi.jp/>

活動内容: 九州大学うみつなぎ九州プロジェクトでは、2020年夏から冬にかけて「日本財団～海と日本プロジェクト～」の一环として、福岡の海や自然をフィールドに、持続可能な循環型社会と海ごみ問題をテーマに活動を展開しています。このプロジェクトの事務局は九州大学大学院工学研究院附属環境工学研究教育センターが中心となって推進しています。

日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<本件に関するお問い合わせはこちらまでお願い致します>

九州大学うみつなぎ九州 運営事務局

電話番号 :092-802-3431

メールアドレス:contact@umitsunagi.jp

九州大学海つなぎ九州は、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、次世代へ海を引き継ぐため、海を介して人と人がつながることを目的として、本事業を実施しています。

【講座内容メモ】”磯焼け”の原因は？対策は？解決は？

”磯焼け”の原因は、海水温上昇、沿岸生態系の変化、生態系バランスの変化による海藻食魚類の増加、沿岸や背後地の開発の影響などが考えられています。いろいろな対策がとられていますが、未解決のまま時間が経っている難問です。

磯焼けが進むと、沿岸漁業が成り立たなくなります。漁村が衰退し、沿岸の人口も減ってしまい、食料供給にも影響してくるので、人間社会にも影響があります。

近年は、気候の変化、特に海水温の上昇変化が激しく、海の生き物がその変化に対応していけるのかが問題になっています。環境変化で弱っている生態系に対して、人類の影響がさらなる影響を与えるのは避けるべきと言われています。

九州大学でも、海洋関係の多分野の研究室で、磯焼け問題解決にむけた調査研究が進んでいます。

今回の「うみまなび」で紹介する事例は、糸島市や対馬市との連携や共同調査の現場からの報告です。